

所へ召連めしつれまり、上下のぞうさ番等ばんとう以下の

苦勞くろう、一郷の費ついで大きな事ものごと出来候

わぬように、みなみな能念入よくねんいれべし、此趣このおまじは名主

たるもの心にこれあり、よくよく小百姓に

おしえ申すべし

附り、隣郷りんごうの者をも中能なかよく、他領たりのうの者公事くじ杯

仕る間敷事

★ぞうさ（造作・面倒、厄介、手数、出費、費用）

費（ついで・出費、無駄、損失） 公事（くじ・争いごと、争論）

一親おやに能々かうかう孝行の心深くあるべし、おやに孝行

の第一たいいちは、其身無病むびようにて煩候わづらひわぬように、扱また

大酒おおさけを買かいのみ、喧嘩けんかずき仕らざるように

身もちをよくいたし、兄弟中きょうちゆうよく、兄は弟あに おとうや

をあわれみ、弟は兄にしたがい、たがいに

むつまじければ、親ことの外悦よろこぶものに候、

此趣このおまじを守り候まもえば、仏神ぶつしんの御恵おんめぐみもありて道みちにも